

□ 瓜生緑地の概要と小形会

瓜生緑地は、昭和56年住宅都市整備公団の発注を受け、(株)京央造園設計事務所が設計業務の委託を行い、続く昭和57年(株)京央造園設計事務所の監理のもと(株)富士植木が施工業者となり工事が進められた。

場所は東京都多摩市永山6丁目8番地、鎌倉街道沿いの沢筋を多摩ニュータウン整備に合わせ造成されたいわば地域公園となっている。敷地は総面積22,900㎡のうち、貝取橋より南を自然風日本庭園とし、南北約300メートル、東西約10～30メートルと細長い北さがりの地形となっているため、必然的に南隅に滝口を設け、コンクリート洗出し仕上げの流れを50メートル余り蛇行させて庭園南末端の池へと注ぐ形をとっている。流れ周辺には滝口修景ポイントとなる四阿をはじめ、数か所の小滝、主園路から派生した流れを絡むよう進む園路の沢飛び、低く据えた石橋、淀み、州浜等を設け、植栽では雑木をふんだんに使い、流れ石組とマッチさせた小形研三独特の個人庭園をモチーフにして公共庭園でも見事な造形表現をしている。

また末端の池では幅の狭い公園のほぼ東西いっぱいに使った水面の西奥に、流れの最後となる小滝で池に注ぐ景は、奥行き感を持たせ、これから上流へ進む鑑賞者へは期待感を誘い、流れを鑑賞し、最後に池尻に立った者へは充実感を与える景といえる。

施工時、小形研三は昭和57年6月から3カ月の間毎日のように現場監理に出向き、流れの配置、石組、植栽を進めていった。小形会・星野会長は当時すでに小形研三のもとを独立し、(株)富士植木の全面的な信頼を受けてこの庭園の石積を一手に引き受けていた。また永井理事は現場監理の小形研三の手元として植栽を指示、実際の施工を行っている。この他にも佐々木理事は当公園用地の段階での植生調査、星野会長の石積手伝いと小形会会員の面々が深い関わりを持っている。

□ 管理支援の経緯

多摩市は「みどりのルネッサンス」と題して、地域に応じた緑の利用や活用方法などを話し合い、多様な意見の人々が互いに理解しながら、みどりに関わり、多摩市の豊かなみどりを資産として活用する取り組みを行い、瓜生緑地に関しても平成25年よりワークショップを3回ほど開催し、みどりのカルテの作成、利活用の方法、維持管理の問題、等が話し合われていた。現状では高木が茂り過ぎているなどの問題点から、大胆な剪定が行われ景観が一変した状態となっていた。

そんな中、平成27年11月 市議の池田けい子女史から小形会ホームページにこの庭園の管理状態に疑問を持たれ、今後の管理の在り方、2020年の東京オリンピックに向けて世界に誇れるこの庭園の再生等のご相談を頂いた。

小形会はこのご提言を受け瓜生緑地管理支援活動として活動することを決定し、多摩市環境部公園緑地課と2回の打ち合わせを行い、管理講習会を開催することとした。

□ 瓜生緑地管理講習会

平成28年9月24日多摩市環境部公園緑地課のご手配のもと、本年度より3年間の維持管理を任された(株)多摩上造園を中心に、(一社)多摩市緑進会のメンバー20名余りの参加を得て、講習会を開催することとした。

初回の講習会であることから技術の伝承、作庭当時の景を再現させるパフォーマンスを行い、近

隣住民のご理解を得る目的も兼ねて、近隣の自治会の方々をはじめ会員の方々のご参加を頂き、阿部市長、星野会長、多摩市緑進会千田理事長の挨拶の後、作業に取り掛かった。

今回、対象とした範囲は、流れの源流となる瀧口周辺で、事前の作業では全体に繁茂したミズザサの刈り払い、実生木の除去などが行われ、続いて高木の剪定から始めることとした。星野会長の適切な解説、指示のもと小形会会員が作業を行い、緑進会の方々にはこれらを見学することで氣勢の取り方、枝の抜き方、詰め方などを理解して頂いたのではないのでしょうか。続いて午後からの雨にも関わらず流れ中に入り、繁茂したセキショウの除去を行い、しばらくすると80%ほど隠れていた流れがよみがえってきた。



★ 講習会《前四阿前から瀧口方向を望む》



★ 講習会后《四阿から瀧口方向を望む》

これらの作業で枯損、伐採によって殺風景になっていた流れ周辺が、小形会会員同士の検討や作業指示により、また緑進会の方々によって補植なども行われ、滝口バックの重厚感、氣勢を生かし抑揚を持たせたコナラ、モミジの配植、更には石組を締める灌木等で作庭当時の景観に一步近づけることが出来た。更には長年の刈込剪定で氣勢をなくしてしまった灌木の扱いでは、何故それがいけないか説明をした後、実際に剪定を行った実技講習会を締めくくりとして全作業を無事終了した。

□小形会会員参加者（敬称略）

星野司郎（会長）	細谷恒夫（副会長）	佐々木康（理事）
永井 良（理事）	福永邦昭（理事）	古屋 茂
富沢弘光	小藤朋生	星野高広
森川泰昭	猪俣森太郎	稜苑社員 2名

□補植した植栽樹種

ヤマモミジ（単幹、のり出しもの）	高さ 2.0～3.0 m	5本
コナラ（単幹、のり出しもの）	高さ 3.0 m	5本
オトコヨウゾメ（2～3本立ち）	高さ 1.0～1.2 m	2株
サワフタギ	高さ 1.0 m	1株
ナツハゼ	高さ 1.0 m	3株
ヒュウガミズキ	高さ 0.5 m	3株
ヒイラギモクセイ	高さ 1.8 m	5本
アオキ（斑入りは不可）	高さ 1.5 m	3株
ヒサカキ	高さ 1.2 m	10株
ヒサカキ	高さ 0.6 m	10株
ヒサカキ	高さ 0.4 m	10株
アセビ	高さ 0.5 m	10株
カンツバキ	葉張 0.4 m	5株